

**平成 19 年度**

**経済局予算要求方針**

# - 目 次 -

<b>1</b>	<b>平成 19 年度経済局予算要求総括表</b>	<b>1</b>
<b>2</b>	<b>19 年度予算要求にあたっての基本的考え方</b>	<b>2</b>
<b>3</b>	<b>予算要求の重点事項</b>	<b>3</b>
	(1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ	
	(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
<b>4</b>	<b>事務事業の見直し等</b>	<b>7</b>

# 1 平成 19 年度経済局予算要求総括表

## 【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成 18 年度 予 算 額 A	平成 19 年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 ( B - A ) / A
産業振興部	87,455 (1,274)	86,196 (1,045)	1,259 (229)	1.4% (18.0%)
雇用推進部	248 (248)	258 (257)	10 (9)	4.0% (3.6%)
農務部	456 (387)	420 (371)	36 (16)	7.9% (4.1%)
合 計	88,159 (1,909)	86,874 (1,673)	1,285 (236)	1.5% (12.4%)

1 ( )内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

## 2 19年度予算要求にあたっての基本的考え方

経済局はどのような札幌の未来像を目指し、予算要求を行っているのか。

経済局が考える札幌の未来像とは

多くの企業が時代の変化に対応した事業展開に取り組み、市民は積極的に起業に挑戦している。

札幌の様々な資源を活かした高い競争力を有する企業が育ち、新製品・技術が札幌ブランドとして国内外に発信され、経済は活力に満ちている。

働く側にとっても、男女ともに多様な就労の機会が充実するなど、生き生きと安心して暮らしている。

であり、この未来像を『元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ』と称し、これを目標に次に掲げる項目に重点を置いた予算要求をしている。

### ～重点取組項目～

長引く景気低迷を受けて、本市企業の9割を占める中小企業を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっていることから、本市融資制度の拡充やニーズに応じた見直しを行なうことにより資金面での支援を充実させるとともに、中小企業アドバイザー事業等により中小企業の経営基盤の強化を図る。

本市の厳しい雇用環境を踏まえ、人材集約型企業の新たな誘致施策を展開し雇用機会の創出を図るとともに、市内事業所数の約1割を占める建設業の深刻な経営・雇用情勢に対応するため、建設業の人材や技術を活かした新たなビジネスモデルの確立に向けた支援事業を引き続き実施する。また、若年層や再就職を目指す女性、中高年齢者などが就業するための支援を、国等の関係機関と連携しながら進めていく。

サッポロバレーの集積を始めとする本市IT産業の優位性を活かし、産業全体の高度化を図るとともに、札幌の特性を活かした新産業を創出するため、デジタルコンテンツ・食・バイオ・健康・環境分野等の産業を振興する。また、札幌の持つ都市イメージを活かした戦略的な事業展開を促進し、産業の活性化を図る。

経済のグローバル化が進んでいる中で、アジア地域は有望な市場として注目されていることから、北京駐在員事務所等を活用してアジア圏との経済交流を促進するとともに、市内企業のビジネスチャンスの拡大や技術の高度化を図っていく。

### 3 予算要求の重点事項

#### (1) 元気な経済が生まれ、安心して働ける街さっぽろ

中小企業金融対策資金を中心とした融資制度を活用し、中小企業や創業に挑戦する市民に必要な資金を供給するとともに、相談機能の拡充、専門家によるアドバイザー制度、人材育成や情報提供の充実など、実効性の高いきめ細やかな支援を行う。

また、人材集約型の企業誘致等により、雇用機会の創出と雇用の安定を図るとともに、各種就業支援策を展開していく。

さらに、大学等の研究成果の集積を活かした新たな産業の創出やアジアとの経済交流を促進する。

#### 1 中小企業や創業に挑戦する市民へのきめ細やかな支援

79,808百万円(82,514百万円)

注:( )内は18年度予算額

#### ア ベンチャー支援事業(産業振興部) 37百万円

札幌市の経済を牽引していく先端分野のベンチャー企業を育成するため、事業を軌道に乗せるまでの創業支援を行う。

#### イ 中小企業金融対策資金貸付(産業振興部) 79,753百万円

中小企業の資金調達の円滑化を図るため、ニーズに合致した融資制度の見直しをする。

#### ウ コミュニティビジネスによる商店街振興事業(産業振興部) 6百万円

コミュニティビジネスによる地域商業の活性化を図るため、商店街等と市民活動団体が連携して実施する取り組みに対して支援を行う。

#### エ 中小企業アドバイザー事業(産業振興部) 12百万円

豊富な知識と経験を持つ離職者等をアドバイザーとして雇用、および登録し、中小企業に対し各分野(金融、マーケティング等)のアドバイスを行う。

## 【成果指標】

1. 中小企業金融対策資金 新規融資額 (中小企業金融対策資金貸付)

【目標】 82,573,000 千円 92,229,000 千円

【19年度目標】 92,229,000 千円

2. ベンチャー支援対象企業数 (ベンチャー支援事業)

【目標】(累計) 12 件 20 件 【19年度効果】 +3 件(累計 17 件 )

## 2 安心して働ける環境づくり

403 百万円 (332 百万円)

注:( )内は 18 年度予算額

ア 就業サポートセンター事業(雇用推進部) 94 百万円

ハローワーク、民間と連携したワンストップ型の就業支援施設「札幌市就業サポートセンター」において、各種就職支援事業を実施する。

イ 若年層就業体験支援事業(雇用推進部) 49 百万円

若年層に就業体験の機会を提供するとともに、雇用機会の創出を図るため、受入企業の確保や受入企業への必要な支援を行う。

ウ 雇用創出型ニュービジネス立地促進事業(産業振興部) 220 百万円

市場性があり雇用創出効果が期待できるコールセンターやニュービジネス( )等の立地促進を図るため、企業訪問、誘致PRや立地企業に対する補助、就職セミナー等の開催を行う。

情報技術を活用し、企業の人事・経理などの事務処理やデータ入力等の情報処理を行う事業

エ コミュニティ型建設業創出事業(産業振興部) 15 百万円

家屋補修等の生活ニーズと、建設業の人材や技術をコーディネートするビジネスモデルの確立に向け、支援事業を実施する。19年度は事業範囲を拡大し、実施エリアを5区から全市へ拡大し、実施する。

オ 中小建設業等経営資源活用型モデル事業(産業振興部) 25 百万円

中小建設業者等が行う経営の効率化・基盤強化への取り組み、経営資源を活かした新分野進出への取り組みに対する支援を行う。

【成果指標】

3. 新規事業所開設数（雇用創出型ニュービジネス立地促進事業）

【目標】（累計）33社 45社

【19年度効果】+6社（累計39社）

4. 就職人数（雇用創出型ニュービジネス立地促進事業）

【目標】（累計）5,000人 6,700人

【19年度効果】+1,000人（累計5,700人）

5. 就職人数（就業サポートセンター事業）

【目標】（累計）1,776人 4,000人

【19年度効果】+1,000人（累計3,000人）

6. 就業体験人数（若年層就業体験支援事業）

【目標】（累計）200人（見込） 500人

【19年度効果】+300人（累計200人）

3 さっぽろの知恵を活かした新たな産業の創出

161百万円（138百万円）

注：（ ）内は18年度予算額

ア 高度情報通信人材育成・活用事業（産業振興部） 71百万円

高度な知識や技術を有する情報通信の人材を体系的に育成し、技術力を公的に認証し、情報を発信することで、首都圏や海外企業との受発注を促進し、情報通信産業全体の活性化を図る。

イ デジタルコンテンツ産業化推進事業（産業振興部） 40百万円

芸術文化産業の育成と札幌の魅力発信に向け、その一翼を担うデジタルコンテンツビジネス（ ）をターゲットにビジネス基盤の確立に向けた取組みを展開する。

19年度は前年度に引き続き、第2回札幌国際短編映画祭を開催し、映画祭を札幌の観光やシティプロモーションの場と位置づけると同時に、本市における映像産業基盤の確立を目指す。

パソコン等を駆使し、映像、音楽、ゲームなどのコンテンツを制作し、流通させる業種

ウ 創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) 推進事業 (産業振興部) 15 百万円

創造都市さっぽろ (sapporo ideas city) という札幌の都市イメージ ( ) の普及、定着を図るため、国際会議、ワークショップ、市民セミナー等の国際イベントを開催する。

「創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト、モノ、情報を発信していく街」であること

エ 企業連携構築事業 (産業振興部) 6 百万円

IT・バイオ分野で企業集積が進んでいる関東関西地域と札幌地域の両分野の企業との事業連携、技術提携及び共同研究の促進を図る

オ 札幌ブランド構築・推進事業 (産業振興部) 26 百万円

経営資源の一つとして重視されている「デザイン」を媒介に様々な産業が横断的・有機的に結びつき、札幌独自の付加価値の高い製品やサービスが創出される取り組みを進める。

19年度はデザイン系NPOや民間事業者との協働による事業展開や札幌市立大学デザイン学部との連携を図り、効果的に事業展開する。

カ 「顔の見える農業」推進事業費 (農務部) 3 百万円

「さっぽろとれたてっこ」の信頼性を一層高めるため、18年度に「さっぽろとれたてっこ」認証制度を制定し、19年度より運用を開始する。また、札幌黄ルネサンス事業( )において選定した改良札幌黄の販売及び加工品の開発等を進め、魅力ある農産加工品による「とれたてっこ」ブランドの魅力アップを図る。

札幌黄ルネサンス事業(平成16年度から18年度実施)とは、伝統あるタマネギ「札幌黄」(幻のタマネギ)の食味の良さを受け継ぎつつ、大きさ・形が揃って対病性に優れた札幌黄の二世品種の開発を通じて、札幌産農産物のブランドづくりを進める取り組み。

【成果指標】

7. 高度情報通信人材育成数 (高度情報通信人材育成・活用事業)

【目標】130人 (累計)350人 【19年度効果】+220人

8. 映画祭来場者数 (デジタルコンテンツ産業化推進事業)

【実績】5,103人 8,106人 【19年度目標】9,000人

#### 4 アジアの産業ネットワークの拡大

38百万円(29百万円)

注:( )内は18年度予算額

##### ア アジア圏等経済交流促進事業(産業振興部) 38百万円

市内企業の国際競争力を高めることを目的に、近年、経済発展や生産技術の向上が著しく、部材・製品の調達先及び販路開拓先として有望なアジア圏諸国との産業ネットワークを構築し、市場情報の収集、市内企業情報の発信、販路拡大支援、高度技術を有する人材の活用、調達コスト削減支援等の事業に取り組む。

### (2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

#### 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

3百万円(3百万円)

注:( )内は18年度予算額

##### ア 環境保全型農業支援事業(農務部) 3百万円

有機資源循環システム調査研究の3年間の成果を受けて、畜産農家の良質な堆肥を耕種農家に供給する耕畜連携システムを構築する。また、堆肥散布機械を所有していない耕種農家に対し、コントラクターを活用した堆肥散布作業の利用を促進し、環境にやさしい循環型農業を推進する。

コントラクターとは、機械を持たない農家の収穫、堆肥散布作業等や経営規模拡大、高齢化等に伴う過重労働作業を専門的に請け負う組織をいう。

## 4 事務事業の見直し等

一般事務費の節約等 <見直し額 5百万円>

施設の保守レベルや、維持管理業務の契約方法等の見直し

<見直し額 12百万円>

団体補助金の見直し <見直し額 1百万円>